

わこうど つうしん 2014年12月号

家づくり

前年度の改修により壊した床に、板を貼ることを目標に施工を進めました。

床板を貼る前に、改修前に床の間だった壁の解体作業。思わぬところに釘が刺さっていて取れなかったり、土壁の土が落ちてきたりしましたが、女の子4人で力を合わせ、頭を使いながら解体していきました！

解体が終わり、床板の寸法を図ってから重木とコンパネを購入。重木で根太(ねだ)を作るのと、コンパネに床板寸法の印を付ける作業までを行いました。初めての工具、初めての作業にも関わらず、4人とも自分で考えて施工を進めていました！頼もしかったです！

その他は、工具や木材の整頓、花壇の整備やカーテン取付け、色紙の再配置を行いました。

森の前地区からいただいたお花たちの寿命が終わって摘むことになり、寂しい気持ちになりました。春になったら新しく球根を植えて、大事に育てていきたいです。今までは外から丸見えでしたが、これからは私たちが活動しない間は閉めっぱなし。活動のときはカーテン思いっきり開けて、地元の方に挨拶いっぱいしたいです！取付けをしたことで、若興人の家がリアルなお家に一歩近づきました！



発行者：若興人の家学生メンバー

若興人の家基本情報：活動や交流の拠点づくり、高田の魅力の発見と発信。

これらの活動を通じた交流人口の増加を目指しています。

@ 岩手県 陸前高田市 岩手県陸前高田市高田町字鳴石 TEL:0192-47-3287

※一般社団法人 SAVE TAKATA の3つの事業の1つである「若者事業」が若興人の家です。

WAKODOHOUSE

まちあるき&交流会



1日の昼過ぎ〜夕方にかけて発見・発信班は地元高校生4名と街歩きをしました。一本松、タピックなどを高校生たちと一緒に見てまわりました。若興人メンバーも何度も訪れている場所ですが、高校生だからこそ、そして陸前高田市民だからこそその見解にハッとさせられる場面が何度かありました。

また、夕方からは高校生も1人加わって、若興人の家で若興人メンバーと高校生の交流会を実施しました。メニューはシチューとサラダと牡蠣漁師さんからいただいた牡蠣のバター炒め♪みんなでおいしく食べながら、楽しい話に花を咲かせました。

私たちにとっても、陸前高田の高校生たちが今何を考えているのか知る機会になりましたし、高校生たちにとっても、進路相談を大学生に相談できる良い機会になったようで、とても実りある時間になったと思います！またこれからも交流を続けていきたいです。



おいしいの源を知ろう！～牡蠣漁師さん～

発見・発信班は、牡蠣漁師の吉田さん夫妻にお話を伺いました。吉田さんは、衛生面と塩じょっぱさが魅力であるとおっしゃっていました。吉田さんは海の水を使って牡蠣を洗っていたのですが、あまりの透明感に海水だと気づきませんでした。そのくらい広田の海水はきれいだということがわかりました。

なんと私たちはその場で新鮮な牡蠣をいただきました！



実は私は牡蠣があまり得意ではなかったのですが、吉田さんの牡蠣はクセもなくとても食べやすかったです！大きな牡蠣をいただきましたが、思わずべろりとすぐに完食しちゃいました！

大変な職業上、津波で大きな被害を受け、まわりの牡蠣漁師さんも減る中、それでも約40年間このお仕事を続ける吉田さん夫妻はとっても素敵で、その吉田さんが作る牡蠣も高田の大切な魅力であると強く感じました。



市内視察

今回は語り部の方をお呼びして陸前高田の視察を行いました。全員陸前高田には何度か訪れており、視察に行った場所はみな行ったことがある場所だったにもかかわらず、語り部の方のお話を通して見る風景は全く別のものに見えました。

最初に、旧・道の駅であるタピック45へ行き、そこの資料館を訪れました。そこで語り部の方から震災当時のお話を伺いました。震災の時は何度聞いても胸が苦しくなり、そして復興に関してなど、多くのことを語っていただきました。語の陸前高田に少しでもかかわったものの責任ではないかと今回の体験を通して思いました。

語り部の方のお話で一番心に残ったのは「津波てんでんこ」という言葉です。「自分の命は自分で守る」という意味は今回初めて知りました。過去の震災を忘れず、それを教訓として他の地域や、次の世代まで受け継いでいく、そのお手伝いをすることがこの陸前高田に少しでもかかわったものの責任ではないかと今回の体験を通して思いました。



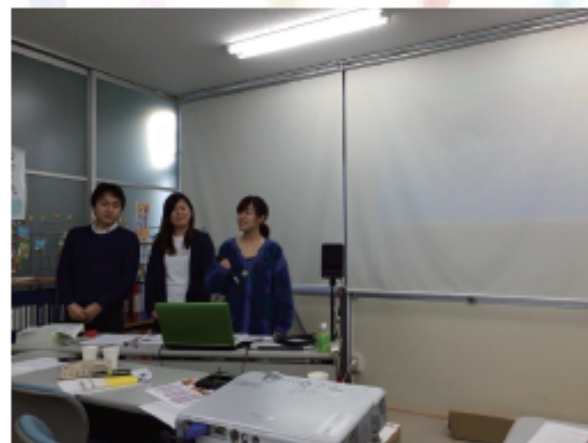
新規参加者から



私は今回、この活動に初めて参加し、主に壁を解体する作業を担当しました。この活動に参加する前、こういった作業は、学生よりも、大工さんといったプロの大人が主体となって進められていると思っていました。だから、実際に参加してみて、学生だけで壁を取り外すと聞いて、本当に学生メインでやっているのか！と驚きました。今回の活動に参加して、私も学生パワーを発揮しやすいこの環境で頑張りたいと思いました。(境)

奥尻島視察報告会

2014年9月に実施された奥尻島視察の報告会を市民の方に向けてさせていただきました。この奥尻島視察は、北海道南西沖地震で甚大な被害を受けた奥尻島の視察を行い、復興施策、津波対策などを学び、陸前高田において若者である私たちには何ができるかを考えるという目的で行われました。



報告では結論として、「現状維持志向が強くなりがちな被災地において、未来を生きる若者が一つのキーワードになるのではないか」ということを発表させていただきました。こうして、陸前高田で活動するよそから来た若者達の未来志向な思いを発信する場を頂けたということにとっても感謝しています。少しでも多くの方が「未来」に向けて動き出せるお手伝いになる活動ができるように、これからも頑張りたいと思います。

仮設住宅クリスマスパーティ

米崎小学校仮設住宅集会所で、ちょっぴり早いクリスマスイベント（お茶っこ）を行いました。ホットケーキミックスをたこ焼き器で焼いて、現地のの方々と一緒にそれを積み重ねてデコレーションをし、クリスマスケーキを作りました。

高田の美味しいものや魅力を知ることだけでなく、現地のの方との交流をメインとし「今」を知ることや、何気ない話をするこも、自分たちにできることを考えていく中で大切なことかと思いました。

とても楽しそうに美味しそうに食べている様子でしたが、食べた後おばあちゃん方が帰ってしまい、もっと話せたのではないかなと反省点が残ったと思います。ひとつひとつのつながりを大切に。

米崎小学校仮設住宅のみなさん、ありがとうございました。



私は今回が初めての参加で、産業ヒアリング、まち歩き、語り部さんとの陸前高田視察と様々なプログラムに参加させていただきました。初めての陸前高田は風景には被災の跡が見られましたが、まち歩きで共にした地元高校生はとても明るく元気をいただけてしまいました。彼らのような明るいまちの人たちや、産業ヒアリングでお話を聞かせていただいた牡蠣養殖場もとても美味しく、陸前高田にはたくさん魅力があり、これらをこれから発信していきたいと思いました。(佐竹)

